

神樹の会会報

No. 58
平成 14 年 12 月 18 日

発行所：神樹の会
発行人：宮脇 テル子

本部事務所 (六甲作業支援センター内) ☎821-1533
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

明芳デイサービス ☎735-8835
〒654-0024 神戸市須磨区大田町6-4-4

たおじ作業所 ☎987-2532
〒651-1312 神戸市北区有野町有野字白原3689

ゆめの作業所 ☎578-3539
〒652-0041 神戸市兵庫区湊川町8-4-10

福祉の店「いたやど」 ☎733-2477
〒654-0022 神戸市須磨区大黒町2-2-12

六甲作業支援センター ☎821-1533
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

垂水作業支援センター ☎782-9675
〒655-0006 神戸市垂水区本多間7-2-3



▲バザー会場風景

第31回神樹の会バザーが、去る十月三十一日、十一月一日にハーバーランドスペースシアターにおいて行われました。例年のように神戸市幼・小・中・高のPTAや多くの市民の方々の協力をいただき、品物を用意することができ、心よりお礼申し上げます。

また前日の搬入、当日の販売のために両校先生方やボランティアの方々がかけてくださったこと、そしてバザー開催を心待ちにし両手いっぱい抱えきれないほど買っていただくくださった方々、いつもながら、人々の善意に

善意に支えられて

神樹の会会長 宮脇 テル子

*バザーお礼

支えられていることを覚え深く感謝いたします。

*これから変わります

さて、十五年四月より支援費制度が始まります。厚生労働省から九月に支援費の単価が示されていますが、本会が運営している三事業所(デイサービス)について試算をしてみますと、いずれも今までより減額となります。これにつきましては他法人の事業所も同じであり、神戸市保健福祉局に「今までと同じサービスを」とお願いしているところです。

また障害程度区分などの決定がなされていますが(これは機能障害のみに着目したものでなく、日常生活を営むのに支障をきたしている状況などにも加味するものであり、従来の身体障害者手帳と同じものではない)、この見直しも待たれるところがあります。

*障害者施策の基本的方向

二〇〇三年から二〇一二年までの十年間に取り組む障害者施策の基本的方向を定める「新障害者基本計画案」が用意されています。考え方としては「わが国が目指す社会は、障害の有無にかかわらず、国民だれもが相互に人格と個性を尊重し、支え合う共生社会とする必要がある」そのためには「行政だけでなく、企業、NPO等すべての社会構成員がその価値観を共有し、それぞれの役割と責任を自覚して主体

根強く

ねばりづよ

ーゆたたり楽々くめたかくー



第31回バザー収支報告

収入	第1日目売上	2,306,433
	第2日目売上	1,015,867
	会場募金	2,203
	寄付金	1,042,543
	委託より	276,131
	計	4,643,177

支出	会場使用費	302,610
	会場設営費	480,000
	印刷費	84,000
	一般物品費	41,216
	材料費	19,117
	通信費	96,120
	事務費	11,854
	交通費	92,033
	雑費	232,433
	計	1,359,383

差引収益 3,283,794円



▲僕たち、私たちも頑張りました。

いたやど 福祉ショップから
長年ご愛顧いただきました福祉ショップ「いたやど」が、この度新しく変わります。詳しく知りたい方、またはお手伝いくださる方は事務局まで。 ☎078-821-1533

感謝

平成14年8月
から11月までに

木下 直子様より
尊いご寄付を
いただきました。

元気であわせ

石井クミ子

いろんなことがありました。靖之も三十才となりました。四年前に気管支炎をこじらせ入院、食べることが困難となり、医者から喉の切開を何回もすすめられましたが、「靖之の声をなくす事は可愛そう」との主人の決断で家に連れて帰りました。しかし、口から食べ物も少しでも入れると、まっ青になり、大好きなプリンも食べられない状態となり、痩せ細ってしまいました。一日に何回も酸素吸入や、吸引器でタンを取りつけ、何とか持ち直したと思ったのもつかの間で、今度は胃潰瘍になり、点滴と薬の毎日となりました。生きようとする靖之の生命力と、私の「もう一度元気にしてやりたい」との思いが回復力となりました。

一年前には皆さんのアドバイスを参考に、ここ西区に思い切った靖之のために家を建てました。窓からは、朝日や夕焼けを、遠くには山並みを、今は紅葉をと、季節感を楽しんでいきます。主人は二年前に退職して家庭内ボランティアをきめ、私と靖之を支えてくれますので、それなりに満足し、感謝しています。

現在は、DSの送迎バスも家の前まで来てくださるので、西部、明友リバティと、三カ所に喜んでいく笑顔を見てホッとしている毎日です。

(平成三年度垂水養護学校卒 石井靖之の母)

お 知 ら せ

新年会

日時：平成15年1月26日(日)
12時～15時30分まで
(今年は時間が早くなって
おりますのでご注意ください。)

場所：ポートピアホテル南館3F
「キーノーツ」

会費：5,000円

今年はバイキング形式で楽しみませんか。
多数の方々のご参加をお待ちしています。

第9回 ゆうすい希望展

日時：
平成15年8月5日(火)～
8月10日(日)

11時～18時まで(最終日17時まで)

場所：ギャラリーミウラ
☎078-391-2665

平成15年
4月から

支援制度が
導入されても...

利用生の...

かがやくにの笑顔も!!



すばらしい体験を

西垣 幸夫 (垂水作業支援センター)

垂水作業支援センターでは、若い人たち、特に中高生、大学生が自ら進んで、あるいは必要に迫られてか勧められてか、福祉体験学習をするために当施設を訪ねることが多くなってきました。

その人たちが感想文を寄せますが、「本当によかった、障害を持った人たちへの認識が改まった」などと、素直な気持ちを書いています。

世の中は高齢化社会に入り、障害を持つ人々も多くなっています。すべての人が共に喜び、励ましあって生きて行く社会、そうなるためには、若い人たちが、感受性の強い純真な時期に福祉の体験をすることは、将来のために大変重要で、また大切なことだと思われま

三木 浩之

(京都大学生)

今回、垂水作業支援センターの介護体験に参加しました。当初、私が持っていたような先入観は障害のある方との接触経験の少なさによるものが大きいと思われま

す。近い将来、日本中の全ての街がそんな風になるように願っています。

らまでも

修学旅行でのボランティア活動を終えて

川畑 彩

(石川県高浜中学生)

作業所のみなさんは見ず知らずの私たちのことを温かく歓迎してくださいました。私はとても嬉しく、感激しました。少しでも多くのことを学びたい、少しでもお役に立てるように頑張りたいという気持ちが高まっていくのを感じました。

ゆめの作業所

私は作業所の方と散歩へ出かけました。私が一番初めに、目についたのは町の方々の様子です。作業所の方が一言「すみません」と声をかけると周

たおじ作業所

現場実習のあと次のような話がありました。



▲熱心に聞き入っています。たおじ作業所ふれあいコンサート

- *「再来年は是非よろしく。きめ細やかで一人ひとりを大切にしてくれるここがよい」と強い希望の願いを言われる。
- *利用者一人ひとりの適性を見ながら細やかに対処していただき、来春当作業所を希望したい。家庭的な環境もあり、有難い。
- *利用者の目線、近い位置からの接し方、活気に満ちた毎日、楽しく過ごした。カリキュラムも養護学校と同じように組まれて、チャレンジしている。
- *障害のあるなしを越えた笑顔の絶えない作業所である。
- *この子を家に閉じ込めたくない、いろいろな刺激をうけて経験させたい。来春より当作業所を強く希望している。

計報

平成十四年八月から十一月までに、次の会員の方々が亡くなりました。心よりお悔やみ申し上げます。

寿 美智子様 (昭和六十三年度 垂水養護学校幼稚部卒)

川崎敬三様 (昭和五十九年度垂水養護学校高等部卒 川崎律子さんの父親)

池原信頼様 (昭和四十八年度友生養護学校高等部卒 池原恵子さんの父親)

あ・と・が・き

慌ただしい年の瀬を迎えました。皆様お元気ですか。

十二月九日の障害者の日・ハートフルデーに点灯された美しいルミナリエを楽しまれた方も多いのではないのでしょうか。

十五年度より支援費制度が導入されます。私達にとってあなたにかい光のような知らせを受け取ることが出来ますように祈りつつ、会報58号をお届けします。

正田 山本 矢野 岡本
大住 小野 宮脇



▲介護体験大学生と散歩

岸本 真紀 (神戸女子大学生)

垂水作業所でのわずか五日間の短い体験期間ではありましたが、社会福祉施設の一日の生活を目のあたりにして、身体に障害をもつ皆様がとても明るく活動や作業しているのを知りました。小学校の教師を目指す私にとって、様々な人々が支えあって生活している社会で介護体験できたことは、これからの役に立つと思います。

河島 早紀 (神戸女子大学生)

言葉がうまくしゃべれなくても、その方達が話そうとしている事は分かります。「健常者である私達の思いやりの心が、障害者の皆さんとの差をなくすのだ」と私は思いました。垂水作業所の皆さんは、皆、明るくてやさしくて温かい人達ばかりで、それらが部屋中満ちていて、その秀囲気が私は大好きでした。また、作業を一生懸命している皆さんの姿は素敵でした。